

朝日町エコミュージアムコアセンター

創

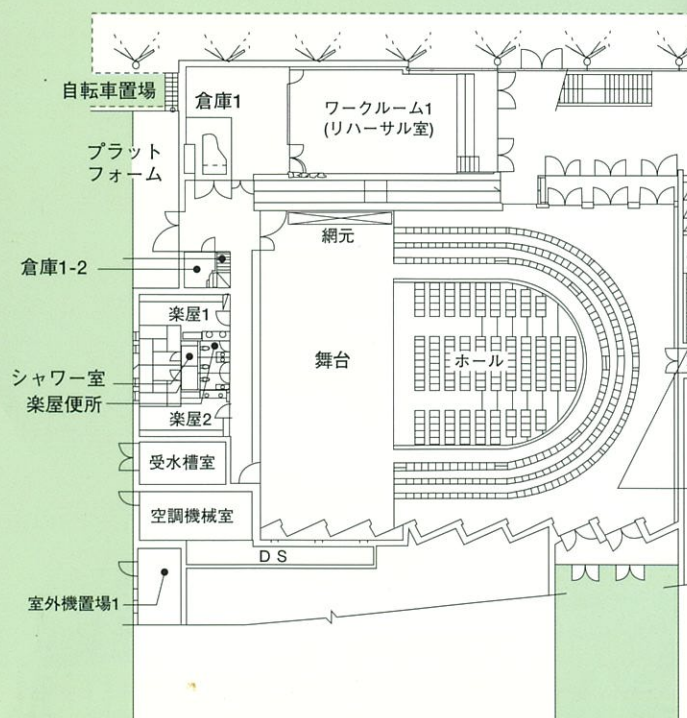
遊

館



山形県朝日町

1F





(リハーサル室) 101m²



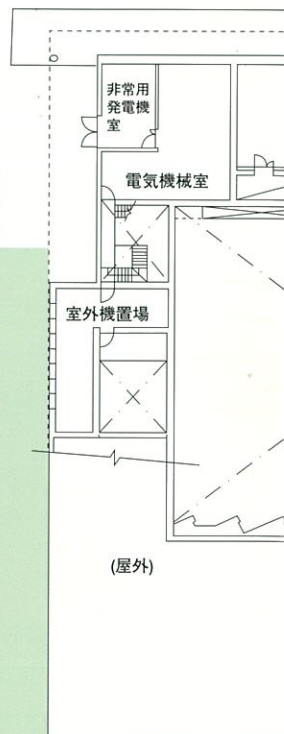
ギャラリー 69m²



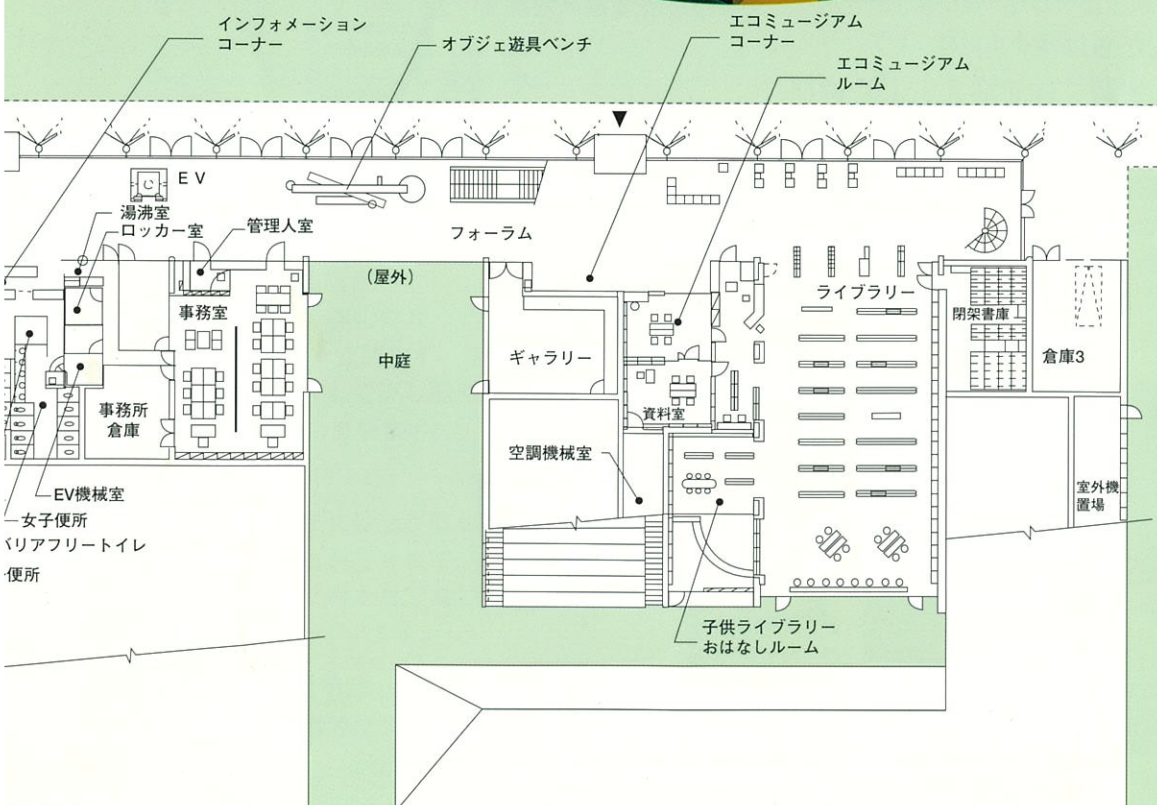
子どもライブラリー おはなしルーム



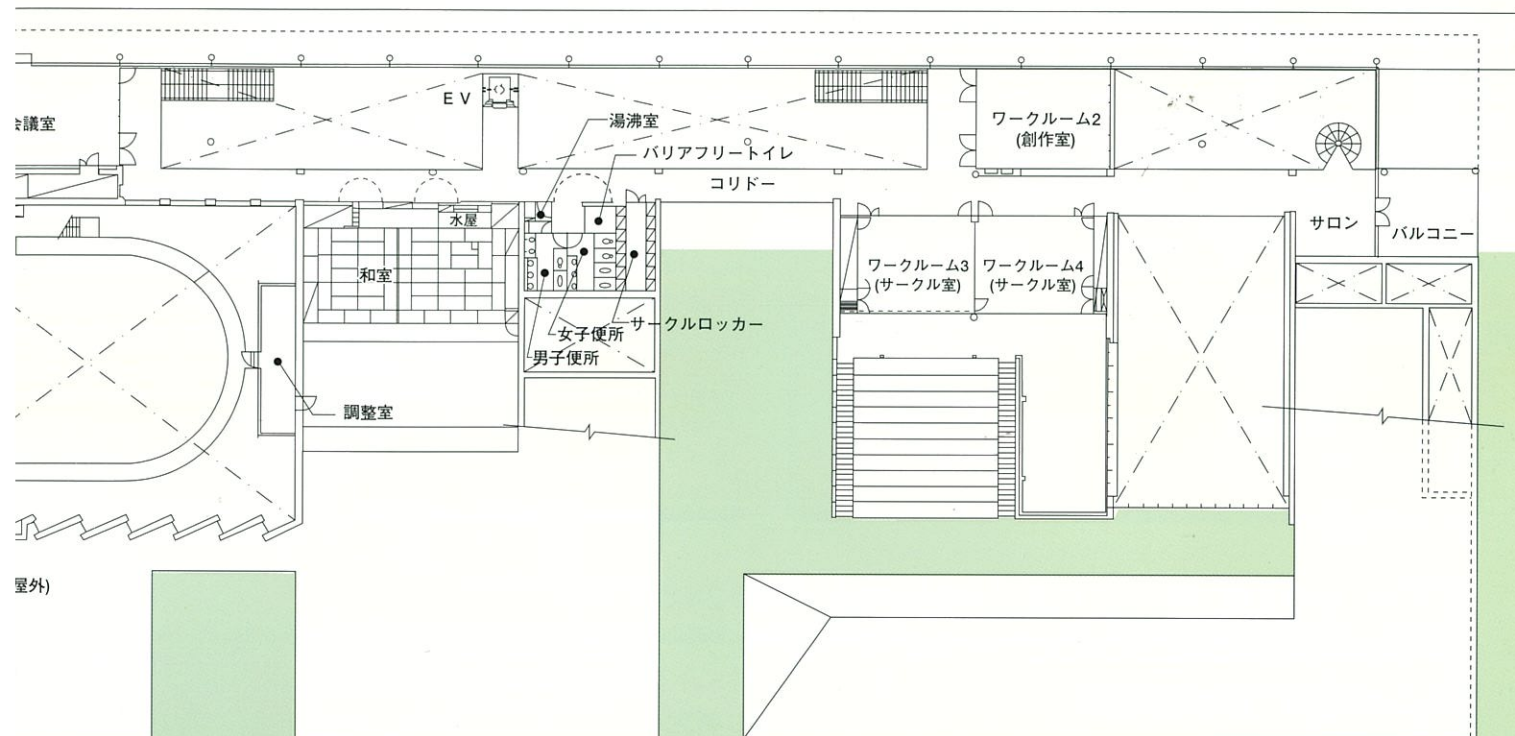
ライブラリー 302m²



ワークルーム2 (創作室)



会議室 111m²



施設の概要

1. 目的

本施設は文化会館機能、中央公民館機能、図書館機能、エコミュージアムコアセンター機能を有した複合施設で、「観る」「創る」「憩う」「交流する」をキーワードに地域情報発信、文化創造の施設として、町民の自主的、自発的な学習・文化活動と地域についての調査・研究・学習活動を行う。

2. 建物の構造及び建築面積

- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造二階建
- ・ 敷地面積 18,325m²
- ・ 建築面積 3,243m²
- ・ 延床面積 3,727m²

3. 事業費

①工事費	1,698,388千円
②用地取得費	96,694千円
③設計・監理費	88,200千円
④備品購入費	43,982千円
計	1,927,264千円

4. 本体工事工期 平成11年3月24日～平成12年5月10日

5. 設計・監理及び施工

- (1) 設計・監理 株式会社 スタジオ建築計画
- (2) 施 工 熊谷・山形・大東共同企業体
(株式会社 熊谷組、山形建設 株式会社、大東建設 株式会社)

施設の特徴

「自由な活動の展開」

この建物はライブラリーやホールやワークルームなど、さまざまな役割をもった施設が集まってできています。

ちょうど朝日町の大きな自然の中に、エコミュージアムのサテライトが点在しているように、フォーラムという大きな屋根のもとにさまざまな施設が配置されています。それらの施設を巡りながら自由な活動の展開ができます。

「まちをつくる核」

フォーラムは、街に向かって開かれている大きな「縁側」のような空間です。役場や体育館や農業団地センターを束ねて少し華やかな朝日町の中心核（コア）をつくっています。

「新しい自然」

大きな屋根の上には土が載せられ、植物が植えられ人が歩くことができます。水田や向いの里山と一緒に、みんなで楽しむことの出来る新しい自然をつくっています。

「新しい構造と構法」

以上の考えを具体化するためには、大きな斜めの

屋根の架構が必要です。ここでは鉄筋コンクリート造で厚肉床壁構造（TWSF）を採用しました。厚さ45cmの板状の壁と床と丸柱で構成されたものです。構法上も鉄筋トラスを用いることで、仮設サポートを必要としないで、コンクリートを打設できるという、NT工法をとっています。工場で鉄筋と金属型枠をつけたユニットを製作し、現場で組みあげる工法です。これによって亀裂の少ない高品質の鉄筋コンクリートをつくる事ができます。この建物ではエキスパンドメタルの金網を型枠に用いそのまま仕上げとしています。フォーラムの天井やホールの外壁にみることができます。

